

幼稚園だより

3月号

ちよだ



令和8年2月27日
千代田区立千代田幼稚園
園長 須藤 敏之

笑顔と感動に包まれた一年

園長 須藤 敏之

春の訪れを感じる今日この頃、校庭にはやわらかな日差しが差し込み、子どもたちの元気な声が一層明るく響いています。今年度も、保護者の皆様の温かいご理解とご協力のもと、無事にこの1年を締めくくることができました。心より感謝申し上げます。

振り返れば、今年度も子どもたちの笑顔と成長に満ちた1年でした。特に、5月に2年振りに街全体で行われた神田祭は、子どもたちにとって特別な体験となりました。お神輿を担ぎ、大人の掛け声に合わせて「せいや！せいや！」と元気いっぱいに応えながら歩いたあの日の興奮は、しばらくの間、園内に余韻を残しました。その後も子どもたちは「お祭りごっこ」を楽しみ、友達と一緒にお囃子をまねたり、手作りの山車を引いたり、遊びの中で伝統文化に親しむ姿が見られました。

10月には、親子運動日が開催されました。お天気に恵まれたかと思いきや、全ての競技が楽しく終わった直後に堰を切ったような大雨。慌ててテントの下に避難しながらも、保護者の皆様と一緒に行った閉会式は、まるで映画のワンシーンのように感動的でした。天候も味方し(?)、子どもたちの頑張りに、たくさんの拍手と笑顔があふれたひとときでした。

12月の子ども会では、3歳児ばら組、4歳児さくら組、5歳児すみれ組の子どもたちが、それぞれの年齢に応じた合唱や合奏、演劇を披露しました。小さな体で一生懸命に表現する姿は、微笑ましくもあり、頼もしくもあるものでした。その輝く子どもたちの姿に、成長の軌跡が確かに刻まれていることを感じられたご家族も多かったのではないのでしょうか。

そして2月20日には、すみれ組による「桃のお茶会・おしるし授与式」が行われました。春の足音が聞こえ始める中、子どもたちは大好きな保護者の皆様にお茶を点て、これまで学んできたことを丁寧に披露しました。その姿には、5歳児としての誇りと自信が満ちており、裏千家の影山純子先生から「おしるし」を受け取る表情は、どの子どもとても満足げでした。

この1年、保護者の皆様には、行事の準備や当日の運営など、様々な場面で多大なるご協力をいただきました。また、地域の皆様や多くのゲストの方々にも支えていただき、充実した教育活動を展開することができました。皆様のお陰で、子どもたちは安心してのびのびと園生活を送り、多くの経験を通して心も体も大きく成長し、笑顔と感動に包まれた1年となりました。心より感謝申し上げます。

来年度も、子どもたち一人一人の「やってみたい」と「笑顔」を大切に、保護者の皆様と共に、温かく豊かな園づくりに努めてまいります。引き続き、よろしく願いいたします。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください。